

17 学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 収容定員を変更する組織の概要

①新設組織の概要（名称、入学定員、収容定員、所在地）

新設組織	入学定員	収容定員	所在地
大妻女子大学短期大学部 家政科家政総合コース	35	70	東京都千代田区三番町 12 番地
大妻女子大学短期大学部 家政科食と栄養コース	55	110	東京都千代田区三番町 12 番地

②新設組織の特色

大妻女子大学短期大学部は、女子に対し広く一般教育を施すと共に専門的な学芸を教授し、高い教養と職業及び实际生活に必要な能力を有する人材を育成することを目的としている。

家政科の収容定員の変更とあわせて、時代に合わせたカリキュラム編成とするため、「家政総合コース」「食と栄養コース」の2コース制とする。「家政総合コース」は新時代にふさわしい新しいライフスタイルをつくることを、「食と栄養コース」は栄養・食を通じて、人々の健康と幸福に貢献する栄養士を目指すことを、それぞれ目的として設置する。

短期大学設置基準では「収容定員は、学科ごとに学則で定めるものとする」とあるが、「食と栄養コース」は栄養士を養成する関係上、定員を設ける。「栄養士養成施設指導要領」第8の2に「同時に授業を行う学生又は生徒の数は、おおむね40人であること」とあり、さらに第10の3(1) 学生又は生徒の定員の変更承認申請書には、「変更前及び変更後における定員及び学級数」を記載する必要がある、栄養士養成課程として定員を設ける必要があるためである。

(2) 人材需要の社会的な動向等

①新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

【資料1：過去5ヵ年における短期大学学科系統別の学科数、志願倍率、入学定員充足率】に示すとおり、家政系の令和5年度の志願倍率は0.91、入学定員充足率は70.16%で、東京都の短期大学の志願倍率1.00、入学定員充足率71.42%と同様に厳しい状況であるが、全国に比べ東京の志願倍率はやや高く、今後も一定程度の志願者数は見込めると推測され

る。近年のニーズに合わせたカリキュラムを導入し教育効果を上げることで志願者を増やしていく。

②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

【資料2：18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移】に示すとおり、全国における令和5年度の18歳人口110万人のうち大学入学者は63万人と微増を続ける一方で短期大学は4万人と年々減少している。大学進学率は全体の57.7%、短期大学は3.4%となっている。

また、この先も全国の18歳人口は減少を続ける予測であり、【資料3：東京都高卒者進学状況】に示すとおり、令和4年度の東京都内の短期大学の入学者は0.1万人と減少傾向であるが、前段①において一定程度の志願者が見込まれることを踏まえ、入学定員を減員したうえで、ニーズのあるカリキュラムを導入し、教育効果を上げることにより定員充足は可能と考える。

③新設組織の主な学生募集地域

令和5年度短期大学部入学生170人の出身校の所在地は、東京都44人、千葉県38人、埼玉県36人、神奈川県16人、1都3県合計で134人、全入学者の78.8%を占めている。今後も首都圏を中心に広報活動を行っていく。

【資料4：別紙1 新設組織が置かれる都道府県への入学状況】

④既存組織の定員充足の状況

本学短期大学部の収容定員充足率は、昨今の短期大学への進学者減少等の影響により0.7倍を満たしていないが【資料5：収容定員充足率】、今回の収容定員変更に伴う変更後の定員に対しては、主な学生募集地域である一都三県における18歳人口の減少も緩やかであること、引き続き社会や高校生等のニーズに応える取り組みを継続すること、また過去5年間の入学者数等から、収容定員は充足されるものと見込まれる。なお、同様に収容定員充足率が0.7倍未満の国文科、英文科については、すでに令和6年度入試から学生募集を停止している。

【資料6：別紙2の2-1～2-3 既設の学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）】

（3）学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

学生募集施策に関しては、本短期大学と同法人が設置する大学が合同で実施する入学者選抜施策委員会と入試委員会で検討している。

学長を委員長とする入学者選抜施策委員会は、建学の理想・精神にふさわしい有為の人材を広く求め、本学学生として入学させるための選抜のあり方を検討し、入学者選抜を定めることを目的としており、入試だけでなくオープンキャンパスの日程を決めている。また、入試委員会では、施策に基づいた具体的な実施内容を決めている。

ア 既設組織における取組とその目標

本学は、大学と併せて広報活動を行っている。大学と短期大学両方への進学を検討している受験生や、大学への編入学も念頭に置いて進路選択を検討する受験生も多いためである。

年内入試志向が高まる中、低学年から進路研究を行う高校生が増えている。そのため、低学年から高校生と接触できる進学相談会、大学・短期大学見学、出張講義への参加を増やし、本学への認知度を上げ、教育内容を理解したうえで志願につなげることを目指している。なお、接触者実数(ファーストコンタクト)の推移として、資料請求、進学相談会、学校見学、オープンキャンパス等で本学に初めて接触した人数(個人情報取得者)が令和5年度は高校1年生で前年度比33%増えており、高校のキャリア教育に利用される広告媒体を増やすなど、低学年向けの広報に力を入れた成果が表れている。

・オープンキャンパス

令和5年度入学者全員に行っている入学手続者アンケートで、「大学・短期大学研究で活用したもの」として既設組織のうち近接する学問分野を持つ家政科家政専攻の新入生は94.2%、家政科食物栄養専攻の新入生では87.5%がオープンキャンパスをあげている。また、両専攻とも「本学の受験を決めるにあたり影響を受けたもの」としてオープンキャンパスを一番にあげている。

オープンキャンパスは令和5年度千代田キャンパスで8回行い、本学の入試説明のほか教員による模擬授業と個別相談のほか、総合型選抜対策、保護者向け受験講座、一般選抜対策など時期に応じた講座を予備校等から講師を招き実施している。また、学生生活を高校生に知ってもらうため、在学生による個別相談、キャンパスツアー、学生によるトークショーなど学生企画を取り入れながら実施している。参加者にはスマートフォンを使ってアンケートを行い、実施内容の改善を行うことで、満足度の高いオープンキャンパスを目指している。令和5年度は短期大学部を設置する千代田キャンパスでは、来場者のうち45.5%の生徒がオープンキャンパスアンケートに回答しており、

「期待通り」と「期待以上」の評価をあわせるとすべての回で約 99%となった。

・高校進学相談会・高校訪問

前年度までは広報・入試センターだけで行っていたが、令和 5 年度からは「広報活動強化プロジェクト」を立ち上げ、事務部全体で行う体制への見直しを行い、令和 3 年度の 157 校、令和 4 年度の 171 校から参加校を増やし、今年度は関東、山梨、静岡を中心とした 209 校の高校の進学相談会に参加した。

高校訪問は令和 5 年度からは首都圏を中心に実施している。学科の特徴、入試方法などを説明し、本学の教育内容を理解してもらえるよう努めている。また、短期大学部教員も高校訪問を実施している。

・会場進学相談会

幅広く高校生への広報を行うため会場進学相談会に積極的に参加している。参加地域は本学(含む大学)への志望者が多い、関東、甲信越、静岡の会場を中心に参加している。令和 5 年度は 65 会場に参加し、799 人の高校生と進学相談を行った。

・大学・短期大学見学

高校の進路研究の一貫として大学・短期大学見学への依頼が増えており、積極的に受け入れている。大学・短期大学見学では、学校説明と施設見学を中心に行っている。令和 5 年度は 16 校の依頼に対応した。

・出張授業

短期大学での学びを高校生に理解してもらうため、本学では大学だけでなく短期大学も高校へ出張授業に積極的に参加している。令和 5 年度、短期大学は 9 校の出張授業に参加した。

・高校教員対象進学相談会

高校教員に本学の教育方針・教育内容と入試方法を理解してもらうため、例年 6 月に「高校教員対象進学相談会」を行っている。当日は広報・入試センターだけでなく、教員も参加し高校教員と個別相談も行っている。参加できない高校教員のため、動画撮影しオンデマンド配信も行った。

・ホームページ

大学・短期大学研究でホームページは重要なツールとなっている。本学では誰もが見やすく、使いやすいホームページを目指し、毎年、ホームページの修正・改善を行っている。株式会社日経 BP コンサルティングによる「大学スマホ・サイトユーザビリティ調査 2023-2024」では全国 266 大学のサイトの中で 8 位の評価を受けている。

また、令和 5 年度に大学・短期大学での学び、オープンキャンパス、入試情報、学生の声をまとめた「受験生応援サイト」をオープンし、受験生に絞った情報提供も開始した。

令和 5 年 4 月から 12 月までの表示回数(学内者を除く)は 2,767,313 回(月別平均 307,479 回)、セッション 1,199,901 回(月別平均 133,322 回)、ユーザー数は延 710,803 人になっている。ホームページのユーザー数を増やすため、Web や SNS への広告を年間通じて出稿している。

・広報媒体の工夫

新聞・雑誌の紙媒体広告から地域、志望学部・学科のターゲットを細かく設定でき、効果測定ができる Web 広告への切り替えを行っている。進学情報サイトも毎年、媒体別に志願者、合格者、入学者の紐づけを行い、効果的な媒体選びを行っている。

SNS の活用も強化しており、X(旧・Twitter)、Instagram、LINE、YouTube、Facebook を運用している。Xでは最新のニュース、Instagram では学園風景、LINE は受験生への入試情報と用途に応じて配信している。YouTube では「大妻女子大学公式チャンネル」を開設し、大学・短期大学紹介や入試ガイダンスだけでなく、学部・学科ごとの紹介ムービーを配信している。今後もコンテンツを増やしていく。

また、ニュース記事として広く告知するため、プレスリリースの配信も積極的に行っている。

【資料 7：別紙 3 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績】

イ 新設組織における取組とその目標

既存組織に置いても短期大学への広報に力を入れてきたが、以下のように一層、短期大学進学の特長、2 コース制への改編による今に即したカリキュラム構成などをアピールし広報を強化する。

・令和 6 年度に発行する大学案内の工夫

大学案内の短期大学ページに家政科 2 コース制のポイントをまとめ、進学相談会等で受験生への説明に使う。

・高校進学相談会

短期大学入学生が多い、首都圏の中堅公立高校への新規参加を増やす。

・オープンキャンパスの工夫

短期大学進学の特長や新カリキュラムの訴求。

短期大学部家政科が作成したリーフレットを配布。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数

家政科3専攻（家政専攻、生活総合ビジネス専攻、食物栄養専攻）入学者のうち、オープンキャンパスに参加した上で本学に入学した者は令和4年度入学者数で120名、令和5年度入学者数で109名を占める。これは今回新たに設定する家政科の入学定員90名を優に確保可能であることを示す。

また、これまでの短期大学部入学者における主な出身校をもとに、高校訪問による進学相談会や高校生に対する短期大学での学びを体験してもらうための出張授業を積極的に行う。さらにオープンキャンパスにおいて短期大学進学の特長や家政分野や食と栄養分野の教育内容等のわかりやすい説明、ホームページをはじめSNSを活用した新設する2つのコースの広報の充実等を行うこと等により、更なる学生募集強化を図る。

これらにより、令和7年4月に学生募集停止を行う予定の家政科3専攻の志願者及び入学者は依然として需要があることと、更なる広報強化策を実施することを踏まえ、新たに設置する家政科家政総合コース35名、家政科食と栄養コース55名の入学者数を確実に確保する。

②競合校の状況分析

ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性

○競合校の選定理由

競合校

共立女子短期大学 生活科学科

東京家政大学短期大学部 栄養科

女子栄養大学短期大学部 食物栄養学科

選定理由

これらの3校は、定員規模、学問分野、所在地、女子大を併設するなど、本学と類似性が多く、競合している短期大学である。

○競合校との比較分析

前述の(2)「③新設組織の主な学生募集地域」に示すとおり、令和5年度の短期大学部の出身校の所在地は1都3県の首都圏で全入学者の78.8%を占めており、その傾向は今後も続くと考えられる。加えて、本学の所在地は東京都千代田区三番町にあり、多くの在学生在が

保証人と同居しており、千代田区の中でも閑静で格調高いエリアにおいて落ち着いた雰囲気の中で学べる環境にあり、優位性があるといえる。

イ 競合校の入学志願動向等

競合校3校の入学志願動向は【資料8】のとおりであるが、本学家政科家政専攻における過去5ヵ年平均の志願者数は入学定員90名に対し149人と約1.7倍、家政科食物栄養専攻における過去5ヵ年平均の志願者数は入学定員100名（平成31年度入試のみ110名）に対し149人と約1.5倍とそれぞれ優位性があることがわかる。

ウ 新設組織において定員を充足できる根拠等

競合校における過去3ヵ年の入学志願状況は、志願者数は女子栄養大学短期大学部を除き入学定員数を超えているものの、各競合校とも入学者数は入学定員を下回っている。特に、令和5年度の入学者数はその傾向が顕著である。

一方で、本学における短期大学部の状況については、令和6年4月に国文科（入学定員45名）及び英文科（入学定員45名）の学生募集を停止した。また、令和7年4月には家政科生活総合ビジネス専攻（入学定員70名）、家政科家政専攻（入学定員90名）及び家政科食物栄養専攻（入学定員100名）それぞれを学生募集停止予定で、家政科家政総合コース及び家政科食と栄養コースとして新たに設置することとしている。

新設する家政科家政総合コースの入学定員は35名、家政科食と栄養コースの入学定員は55名であり、学生募集を停止するそれぞれの専攻の入学定員に比して直近の入学者の状況を踏まえた入学定員設定としてこれまでの本学の実績から確実に入学定員が充足できると考えられる。

エ 学生納付金などの金額設定の理由

既存の家政科（家政専攻及び食物栄養専攻）の学生納付金等の金額設定は、競合校である共立女子短期大学生活科学科、東京家政大学短期大学部栄養科及び女子栄養大学短期大学部食物栄養学科とほぼ同水準であることから、適正な水準にあるものと考えている。そのため、新たに設置する「家政科家政総合コース」と「家政科食と栄養コース」についても、既存の「家政専攻」と「食物栄養専攻」の入学金及び2年分の授業料・教育充実費の合計金額と同額となるように金額を設定した。ただし、入学予定者の初年度納付金負担を軽減する観点か

ら、各費目の内訳については入学金を 10 万円値下げする一方で、教育充実費を年額 5 万円値上げすることで、学年ごとの負担の平準化を図っている。

前述「ウ 新設組織において定員を充足できる根拠等」のとおり定員充足が見込まれることから学生納付金等の金額設定は妥当であると考えている。

③先行事例分析

該当なし

④学生確保に関するアンケート調査

新たなアンケート調査等は実施していないが、【資料 6】別紙 2 の 2-1～2-3 のとおり、過去 5 年間の入学定員充足率は家政科家政専攻 77%、生活総合ビジネス専攻 99%、食物栄養専攻 72%となっており、いずれも定員未充足ではあるが、全国に比べ首都圏の 18 歳人口減少は緩やかであり、新たに設置する家政総合コースでは、現在の生活総合ビジネス専攻において行っているビジネス系科目を取り入れることから、競合校よりも優位性があると考えられること、本学は東京都千代田区三番町にあり交通の便も大変良く、新設組織では入学定員を家政総合コース入学定員 35 名、食と栄養コース 55 名の合計 90 名とし、現在の家政科入学定員 260 名から大きく減員することから、入学定員を十分確保できると考えられる。

⑤人材需要に関するアンケート調査等

短期大学部の直近 5 年の就職希望者に対する内定率は、93%を超えており、家政科に関しては 95.9%となっている。

アフターコロナ、インバウンドをはじめとする企業の採用意欲の高まりもあるが、大妻女子大学短期大学部宛の求人数は、11,016 件（2018 年度）、11,602 件（2019 年度）、11,810 件（2020 年度）、12,976 件（2021 年度）、15,096 件（2022 年度）と順調に推移している。

修業年限が 2 年間と限られる短期大学部では、正課であるキャリアデザイン科目への関心は、以前に増して高まっている。「キャリアデザインⅠ」では、開講時のレディネス調査を行ったうえで、専攻・学科毎に異なるカリキュラム・ポリシーやディプロマ・ポリシーを尊重しつつ、卒後の多様なキャリア形成を視野に入れた指導を行う。また、「キャリアデザインⅡ」では、日本ホスピタリティ推進協会認定のアソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータの資格取得を学修の達成目標としつつ、マネジメント感覚やホスピタリティ精神の修得を促す。さらに、組織人としての学びの一環として、身近なロールモデルとなる卒業生を招いた

講義や5つ星ホテルでのフィールドワークを導入する。

多様な学科・専攻の履修生がひとつのクロス・ファンクション・チームを構成し、提携先である老舗企業から提示された経営課題をめぐり、最善の解決策を導き出す「キャリア・ディベロップメント・プログラム（CDP）Ⅰ」では、そのプロセスを通して、個々人の社会人基礎力の育成を図るとともに、最終発表会まで成し遂げた成功体験を得ることで自己肯定感を養う。ひいては、卒後のキャリア形成を促す。

さらに、正課外においても、産業構造や社会構造の変化に対応し、ビジネス社会、地域社会、家庭で活躍していく女性のために、従来の学部等での授業と並行して、全学部の学生、卒業生を対象に「大妻マネジメントアカデミー(OMA)」という講座を開講している。本講座は、卒業生をはじめとする社会人女性も対象としており、社会の第一線で活躍する社会人と切磋琢磨することが可能である。これらの講座は、学生が社会に出た後から活躍できるように年度ごとにプログラムを改編している。

これらのきめ細やかな取り組みで、より一層社会的な人材需要の動向に対応できると考える。

（４）収容定員を変更する組織の定員設定の理由

【資料２：18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移】（再掲）に示すとおり、全国における令和5年度の18歳人口110万人のうち大学入学者は63万人と微増を続ける一方で短期大学は4万人と年々減少している。また、【資料３：東京都高卒者進学状況】（再掲）および【資料９：都道府県別大学・短期大学等への進学状況（令和5年3月）】に示すとおり、東京都内においても大学入学者は3.5万人（女子）と年々増加傾向にあるなか、短期大学入学者は0.1万人（女子）と減少傾向である。さらに東京都の短期大学進学状況は全国最下位となっていることから令和7年度から家政科の入学定員を減員し、入学定員充足率の適正化を図ることとした。

【資料10：家政科 入学定員充足率】に示すとおり、令和1年度から入学者が減少し、令和4年度は174人、令和5年度は143人へ推移していることから、家政科の入学定員を90人に設定した。専攻は廃止し、「家政総合コース」と「食と栄養コース」の2コース制を敷く。短期大学設置基準では「収容定員は、学科ごとに学則で定めるものとする。」とあるが、「食と栄養コース」では栄養士を養成する関係上、コースに定員を設ける。「栄養士養成施設指導要領」第8の2に「同時に授業を行う学生又は生徒の数は、おおむね40人であること。」とあり、さらに第10の3(1) 学生又は生徒の定員の変更承認申請書には、「変更前及び変更後における定員及

び学級数」を記載する必要がある、栄養士養成課程として定員を設ける必要があるためである。

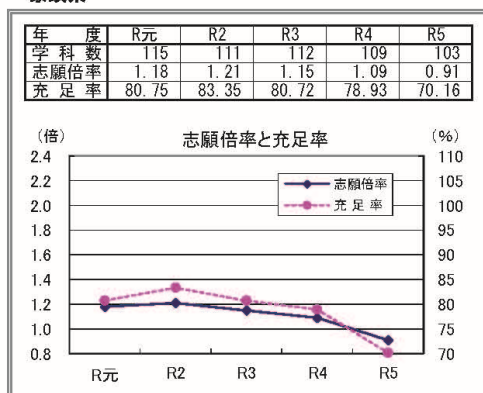
**学生の確保の見通し等を記載した書類
添付資料の目次**

【資料1】	過去5ヵ年における短期大学学科系統別の学科数、 志願倍率、入学定員充足率	2
【資料2】	18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移	3
【資料3】	東京都高卒者進学状況	3
【資料4】	新設組織が置かれる都道府県への入学状況	4
【資料5】	収容定員充足率	5
【資料6】	既設の学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）	6
【資料7】	既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績	9
【資料8】	競合校の入学志願動向	10
【資料9】	都道府県別大学・短期大学等への進学状況（令和5年3月）	11
【資料10】	家政科 入学定員充足率	12

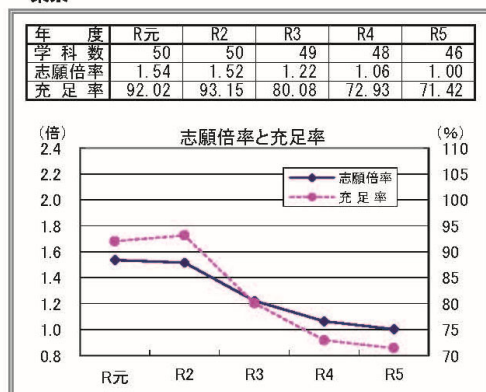
【資料1】

過去5ヵ年における短期大学学科系統別の学科数、志願倍率、入学定員充足率

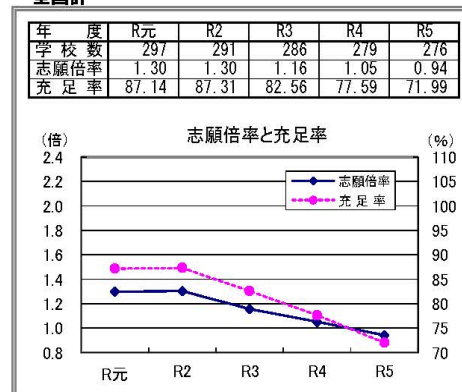
家政系



東京



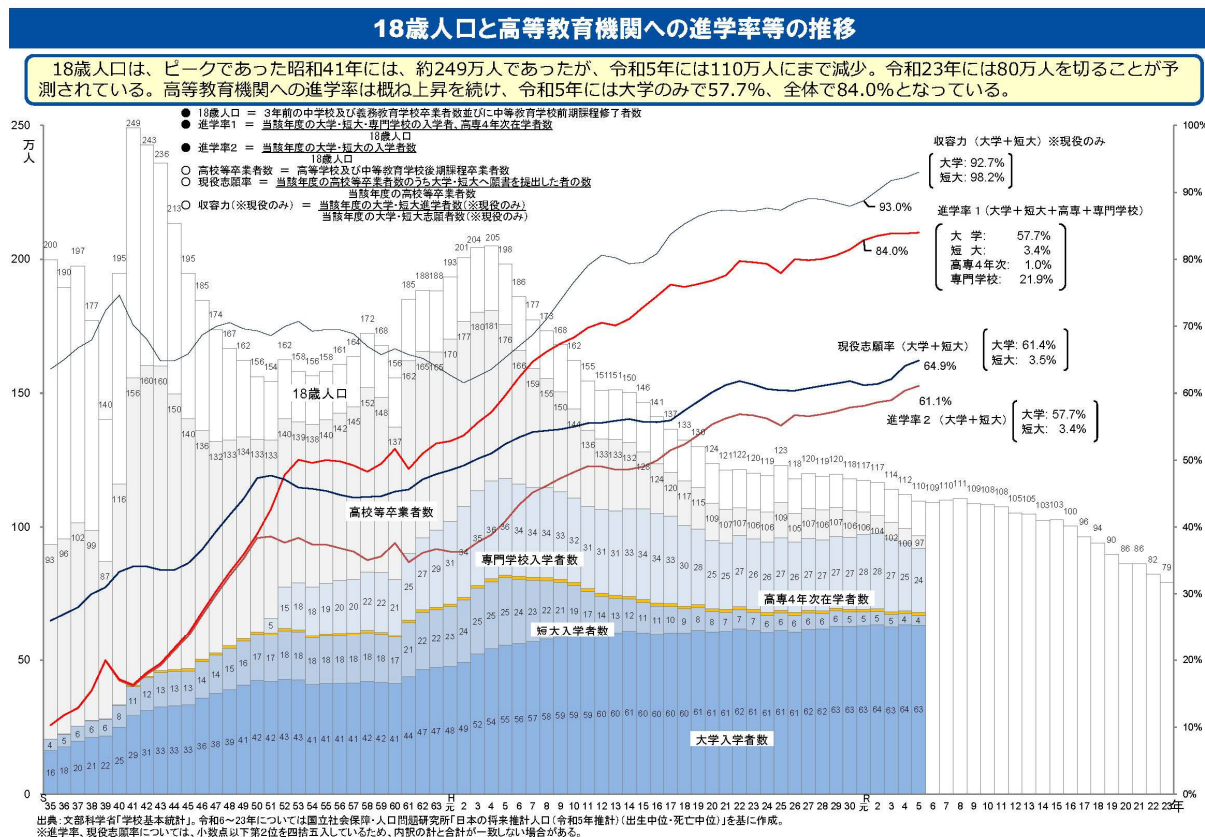
全国計



(出典：日本私立学校振興・共済事業団「令和5年度私立大学・短期大学等入学志願動向」)

【資料2】

18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移



(出典：文部科学省)

【資料3】

東京都高卒者進学状況

年度	高卒者 (人)	平成 15(2003) からの 増減率(%)	大学 進学者 (人)	平成 15(2003) からの 増減率(%)	短大 進学者 (人)	平成 15(2003) からの 増減率(%)
平成15年度	53,471	—	24,783	—	5,934	—
平成20年度	48,783	-8.8	29,633	19.6	3,604	-39.3
平成25年度	50,192	-6.1	32,073	29.4	2,686	-54.7
平成30年度	51,884	-3.0	34,198	38.0	1,795	-69.8
令和1年度	51,119	-4.4	34,024	37.3	1,829	-69.2
令和2年度	50,074	-6.4	34,500	39.2	1,627	-72.6
令和3年度	49,945	-6.6	35,273	42.3	1,483	-75.0
令和4年度	49,128	-8.1	35,408	42.9	1,226	-79.3

(出典：学校基本調査)

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

※学科の設置ではないため、作成せず。

	都道府県名	人 数	構成比
1			
2			
3			
4			
5			
	全 体		

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	東京都	81.53%	73.78%	72.32%
2				

※ 2 校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1	家政系（短大）	80.72%	78.93%	70.16%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

【資料 5】

収容定員充足率

学科専攻		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
家政科家政専攻	収容定員	180	180	180	180
	在籍者数	209	176	110	75
	収容定員充足率	116%	97%	61%	41%
家政科 生活総合ビジネス専攻	収容定員	140	140	140	140
	在籍者数	178	140	117	112
	収容定員充足率	127%	100%	83%	80%
家政科食物栄養専攻	収容定員	210	200	200	200
	在籍者数	163	147	152	125
	収容定員充足率	77%	73%	76%	62%
家政科合計	収容定員	530	520	520	520
	在籍者数	550	463	379	312
	収容定員充足率	103%	89%	72%	60%

(出典：本学調査)

既設の学科等の入学定員の充足状況(直近5年間)

大学学部学科等名:大妻女子大学短期大学部家政科家政専攻

(大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。)

1. 各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
総合型選抜	募集人員		18人	18人	18人	21人	21人	19人
	延べ人数	志願者数	21人	26人	13人	10人	14人	17人
		受験者数	16人	18人	11人	9人	11人	13人
		合格者数	16人	18人	11人	9人	11人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	21人	26人	13人	10人	14人	17人
		受験者数	16人	18人	11人	9人	11人	13人
		合格者数	16人	18人	11人	9人	11人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
学校推薦型選抜	入学者数		16人	18人	11人	9人	11人	13人
	募集人員		54人	54人	54人	49人	49人	52人
	延べ人数	志願者数	47人	53人	44人	26人	19人	38人
		受験者数	47人	53人	44人	26人	19人	38人
		合格者数	47人	53人	44人	26人	19人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	47人	53人	44人	26人	19人	38人
		受験者数	47人	53人	44人	26人	19人	38人
		合格者数	47人	53人	44人	26人	19人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
一般選抜	入学者数		47人	53人	44人	26人	19人	38人
	募集人員		10人	10人	10人	12人	12人	11人
	延べ人数	志願者数	80人	83人	35人	50人	20人	54人
		受験者数	77人	81人	35人	44人	18人	51人
		合格者数	70人	71人	33人	41人	17人	46人
		うち追加合格者数	2人	0人	0人	2人	0人	1人
		辞退者数	45人	43人	29人	36人	14人	33人
	実人数	志願者数	65人	72人	33人	42人	18人	46人
		受験者数	64人	70人	33人	37人	16人	44人
		合格者数	60人	62人	31人	35人	15人	41人
		うち追加合格者数	2人	0人	0人	2人	0人	1人
		辞退者数	35人	34人	27人	30人	12人	28人
共通テスト利用入試	入学者数		25人	28人	4人	5人	3人	13人
	募集人員		7人	7人	7人	7人	7人	7人
	延べ人数	志願者数	69人	54人	36人	28人	15人	40人
		受験者数	69人	54人	36人	28人	15人	40人
		合格者数	66人	44人	32人	26人	14人	36人
		うち追加合格者数	1人	2人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	53人	35人	28人	26人	13人	31人
	実人数	志願者数	69人	54人	36人	28人	15人	40人
		受験者数	69人	54人	36人	28人	15人	40人
		合格者数	66人	44人	32人	26人	14人	36人
		うち追加合格者数	1人	2人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	53人	35人	28人	26人	13人	31人
その他の特別選抜	入学者数		13人	9人	4人	0人	1人	5人
	募集人員		1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	募集人員		90人	90人	90人	90人	90人	90人
	延べ人数	志願者数	217人	216人	128人	114人	68人	149人
		受験者数	209人	206人	126人	107人	63人	142人
		合格者数	199人	186人	120人	102人	61人	134人
		うち追加合格者数	3人	2人	0人	2人	0人	1人
		辞退者数	98人	78人	57人	62人	27人	64人
	実人数	志願者数	202人	205人	126人	106人	66人	141人
		受験者数	196人	195人	124人	100人	61人	135人
		合格者数	189人	177人	118人	96人	59人	128人
		うち追加合格者数	3人	2人	0人	2人	0人	1人
		辞退者数	88人	69人	55人	56人	25人	59人
	入学者数		101人	108人	63人	40人	34人	69人

2. 入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	90人	90人	90人	90人	90人	90人
入学定員充足率	1.12	1.20	0.70	0.44	0.38	0.77
歩留率	0.51	0.58	0.53	0.39	0.56	0.51

(備考) 大きく入試等により「入学者数★」が一致しない場合はその理由を書くこと

1. 各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
総合型選抜	募集人員		15人	15人	20人	23人	30人	21人
	延べ人数	志願者数	54人	36人	26人	25人	20人	32人
		受験者数	49人	35人	24人	23人	17人	30人
		合格者数	34人	33人	24人	22人	17人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	54人	36人	26人	25人	20人	32人
		受験者数	49人	35人	24人	23人	17人	30人
		合格者数	34人	33人	24人	22人	17人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		34人	32人	24人	22人	17人	26人
学校推薦型選抜	募集人員		39人	39人	33人	26人	7人	29人
	延べ人数	志願者数	54人	25人	15人	22人	33人	30人
		受験者数	54人	25人	15人	22人	33人	30人
		合格者数	48人	25人	15人	21人	32人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	54人	25人	15人	22人	33人	30人
		受験者数	54人	25人	15人	22人	33人	30人
		合格者数	48人	25人	15人	21人	32人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		48人	25人	15人	21人	32人	28人
一般選抜	募集人員		10人	10人	11人	15人	25人	14人
	延べ人数	志願者数	80人	52人	60人	50人	24人	53人
		受験者数	77人	50人	57人	49人	21人	51人
		合格者数	10人	36人	54人	45人	19人	33人
		うち追加合格者数	0人	2人	1人	1人	0人	1人
		辞退者数	5人	14人	41人	34人	14人	22人
	実人数	志願者数	68人	47人	54人	43人	21人	47人
		受験者数	65人	45人	51人	42人	19人	44人
		合格者数	10人	36人	50人	39人	18人	31人
		うち追加合格者数	0人	2人	1人	1人	0人	1人
		辞退者数	5人	14人	37人	28人	13人	19人
	入学者数		5人	22人	13人	11人	5人	11人
共通テスト利用入試	募集人員		5人	5人	5人	5人	7人	5人
	延べ人数	志願者数	56人	35人	46人	31人	7人	35人
		受験者数	56人	35人	46人	31人	7人	35人
		合格者数	13人	21人	44人	28人	7人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	16人	40人	25人	7人	19人
	実人数	志願者数	56人	35人	46人	31人	7人	35人
		受験者数	56人	35人	46人	31人	7人	35人
		合格者数	13人	21人	44人	28人	7人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	6人	16人	40人	25人	7人	19人
	入学者数		7人	5人	4人	3人	0人	4人
その他の特別選抜	募集人員		1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	募集人員		70人	70人	70人	70人	70人	70人
	延べ人数	志願者数	244人	148人	147人	128人	84人	150人
		受験者数	236人	145人	142人	125人	78人	145人
		合格者数	105人	115人	137人	116人	75人	110人
		うち追加合格者数	0人	2人	1人	1人	0人	1人
		辞退者数	11人	31人	81人	59人	21人	41人
	実人数	志願者数	232人	143人	141人	121人	81人	144人
		受験者数	224人	140人	136人	118人	76人	139人
		合格者数	105人	115人	133人	110人	74人	107人
		うち追加合格者数	0人	2人	1人	1人	0人	1人
		辞退者数	11人	31人	77人	53人	20人	38人
	入学者数		94人	84人	56人	57人	54人	69人

2. 入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	70人	70人	70人	70人	70人	70人
入学定員充足率	1.34	1.20	0.80	0.81	0.77	0.99
歩留率	0.90	0.73	0.41	0.49	0.72	0.65

(備考) 大きく入試等により「入学者数★」が一致しない場合はその理由を書くこと

1. 各選抜方法の状況

			H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平 均
総合型選抜	募集人員		25人	20人	25人	25人	30人	25人
	延べ人数	志願者数	33人	9人	18人	20人	7人	17人
		受験者数	32人	8人	15人	14人	6人	15人
		合格者数	28人	7人	13人	12人	6人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	33人	9人	17人	20人	7人	17人
		受験者数	32人	8人	14人	14人	6人	15人
		合格者数	28人	7人	13人	12人	6人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		27人	7人	13人	12人	6人	13人
学校推薦型選抜	募集人員		58人	49人	44人	42人	37人	46人
	延べ人数	志願者数	48人	55人	54人	51人	39人	49人
		受験者数	48人	55人	54人	51人	39人	49人
		合格者数	47人	55人	54人	51人	39人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	48人	55人	54人	51人	39人	49人
		受験者数	48人	55人	54人	51人	39人	49人
		合格者数	47人	55人	54人	51人	39人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		47人	55人	54人	51人	39人	49人
一般選抜	募集人員		23人	23人	23人	23人	23人	23人
	延べ人数	志願者数	68人	76人	45人	47人	31人	53人
		受験者数	65人	70人	39人	44人	28人	49人
		合格者数	59人	65人	37人	41人	27人	46人
		うち追加合格者数	1人	2人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	44人	59人	31人	30人	19人	37人
	実人数	志願者数	67人	70人	42人	45人	30人	51人
		受験者数	64人	65人	36人	42人	28人	47人
		合格者数	59人	60人	34人	39人	27人	44人
		うち追加合格者数	1人	2人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	44人	54人	28人	28人	19人	35人
	入学者数		15人	6人	6人	11人	8人	9人
共通テスト利用入試	募集人員		4人	5人	5人	7人	7人	6人
	延べ人数	志願者数	39人	39人	31人	20人	10人	28人
		受験者数	39人	39人	31人	20人	10人	28人
		合格者数	33人	36人	25人	19人	8人	24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	31人	34人	24人	16人	8人	23人
	実人数	志願者数	39人	39人	31人	20人	10人	28人
		受験者数	39人	39人	31人	20人	10人	28人
		合格者数	33人	36人	25人	19人	8人	24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	31人	34人	24人	16人	8人	23人
	入学者数		2人	2人	1人	3人	0人	2人
その他の特別選抜	募集人員		0人	3人	3人	3人	3人	2人
	延べ人数	志願者数	0人	1人	1人	0人	2人	1人
		受験者数	0人	1人	1人	0人	2人	1人
		合格者数	0人	1人	1人	0人	2人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	1人	1人	0人	2人	1人
		受験者数	0人	1人	1人	0人	2人	1人
		合格者数	0人	1人	1人	0人	2人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	1人	1人	0人	2人	1人
合計	募集人員		110人	100人	100人	100人	100人	102人
	延べ人数	志願者数	188人	180人	149人	138人	89人	149人
		受験者数	184人	173人	140人	129人	85人	142人
		合格者数	167人	164人	130人	123人	82人	133人
		うち追加合格者数	1人	2人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	76人	93人	55人	46人	27人	59人
	実人数	志願者数	187人	174人	145人	136人	88人	146人
		受験者数	183人	168人	136人	127人	85人	140人
		合格者数	167人	159人	127人	121人	82人	131人
		うち追加合格者数	1人	2人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	76人	88人	52人	44人	27人	57人
	入学者数		91人	71人	75人	77人	55人	74人

2. 入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平 均
入 学 定 員	110人	100人	100人	100人	100人	102人
入 学 定 員 充 足 率	0.83	0.71	0.75	0.77	0.55	0.72
歩 留 率	0.54	0.43	0.58	0.63	0.67	0.57

(備考)大きく入試等により「入学者数★」が一致しない場合はその理由を書くこと

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：大妻女子大学短期大学部家政科家政専攻のオープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	4,918人	4,884人	①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、学科説明、模擬授業、教員・在学生との懇談、入試説明、施設案内等を実施(大学と合同開催)。来場は事前予約制だが、自由に回れるプログラムのため、学科・専攻ごとの予約はとっていない。 R4年度入試対象(R3年開催)：計9回開催(5/23、6/6、7/11、8/10、8/11、8/22、9/12、10/23、11/27) R5年度入試対象(R4年開催)：計8回開催(5/22、6/5、7/10、8/6、8/7、8/28、10/22、11/27) ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学者のうちオープンキャンパス参加者が64.9%(R4、R5の平均)を占める。オープンキャンパス動員により短期大学部家政科の入学定員90人のうち58人の入学が見込める。
うち受験対象者数(b)	3,469人	3,286人	
うち受験者数(c)	35人	26人	
うち入学者数(d)	26人	22人	
(受験率 c/b)	1.0%	0.8%	
(入学率 d/b)	0.7%	0.7%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：大妻女子大学短期大学部家政科生活総合ビジネス専攻のオープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	4,918人	4,884人	①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、学科説明、模擬授業、教員・在学生との懇談、入試説明、施設案内等を実施(大学と合同開催)。来場は事前予約制だが、自由に回れるプログラムのため、学科・専攻ごとの予約はとっていない。 R4年度入試対象(R3年開催)：計9回開催(5/23、6/6、7/11、8/10、8/11、8/22、9/12、10/23、11/27) R5年度入試対象(R4年開催)：計8回開催(5/22、6/5、7/10、8/6、8/7、8/28、10/22、11/27) ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学者のうちオープンキャンパス参加者が73.9%(R4、R5の平均)を占める。オープンキャンパス動員により短期大学部家政科の入学定員90人のうち67人の入学が見込める。
うち受験対象者数(b)	3,469人	3,286人	
うち受験者数(c)	50人	41人	
うち入学者数(d)	41人	41人	
(受験率 c/b)	1.4%	1.2%	
(入学率 d/b)	1.2%	1.2%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：大妻女子大学短期大学部家政科食物栄養専攻のオープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	4,918人	4,884人	①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、学科説明、模擬授業、教員・在学生との懇談、入試説明、施設案内等を実施(大学と合同開催)。来場は事前予約制だが、自由に回れるプログラムのため、学科・専攻ごとの予約はとっていない。 R4年度入試対象(R3年開催)：計9回開催(5/23、6/6、7/11、8/10、8/11、8/22、9/12、10/23、11/27) R5年度入試対象(R4年開催)：計8回開催(5/22、6/5、7/10、8/6、8/7、8/28、10/22、11/27) ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学者のうちオープンキャンパス参加者が73.3%(R4、R5の平均)を占める。オープンキャンパス動員により短期大学部家政科の入学定員90人のうち66人の入学が見込める。
うち受験対象者数(b)	3,469人	3,286人	
うち受験者数(c)	59人	46人	
うち入学者数(d)	53人	46人	
(受験率 c/b)	1.7%	1.4%	
(入学率 d/b)	1.5%	1.4%	

【資料 8】

競合校の入学志願動向

大学	学科	入学定員数	入試年度	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	入学者数	定員充足率
共立女子 短期大学	生活科学科	100	令和 5 年度	197	188	187	1.1	93	93.0%
			令和 4 年度	197	183	183	1.1	88	88.0%
			令和 3 年度	293	275	240	1.2	118	118.0%
東京家政大学 短期大学部	栄養科	80	令和 5 年度	98	94	74	1.3	68	85.0%
			令和 4 年度	126	123	96	1.3	84	105.0%
			令和 3 年度	185	175	135	1.4	54	67.5%
女子栄養大学 短期大学部	食物栄養 学科	160	令和 5 年度	86	78	77	1.1	74	46.3%
			令和 4 年度	150	135	134	1.1	124	77.5%
			令和 3 年度	157	138	133	1.2	111	69.4%

(出典：各大学のホームページ公開情報又は大学案内を参照)

【資料 9】

都道府県別大学・短期大学等への進学状況（令和5年3月）

順位	県名	大学・短期大学等 進学者〔女〕（人）	短期大学(本科) 進学者〔女〕（人）	進学率
1	大分県	2,472	565	22.9%
2	鹿児島県	3,422	725	21.2%
3	秋田県	1,709	351	20.5%
4	鳥取県	1,273	241	18.9%
5	福島県	3,742	689	18.4%
6	長野県	4,702	827	17.6%
7	山形県	2,190	381	17.4%
8	富山県	2,548	413	16.2%
9	島根県	1,400	223	15.9%
10	宮崎県	2,299	360	15.7%
11	青森県	2,681	392	14.6%
12	山口県	2,527	366	14.5%
13	岐阜県	4,794	689	14.4%
14	佐賀県	1,778	249	14.0%
15	山梨県	2,070	288	13.9%
16	三重県	3,884	538	13.9%
17	長崎県	2,811	389	13.8%
18	和歌山県	2,069	284	13.7%
19	福井県	2,098	287	13.7%
20	宮城県	4,798	648	13.5%
21	群馬県	4,455	599	13.4%
22	石川県	2,920	391	13.4%
23	香川県	2,402	311	12.9%
24	岩手県	2,392	296	12.4%
25	愛媛県	2,911	357	12.3%
26	滋賀県	3,540	434	12.3%
27	栃木県	4,418	534	12.1%
28	福岡県	11,892	1,430	12.0%
29	高知県	1,598	188	11.8%
30	新潟県	4,228	494	11.7%
31	北海道	9,167	1,052	11.5%
32	沖縄県	3,346	375	11.2%
33	岡山県	4,567	509	11.1%
34	静岡県	8,085	835	10.3%
35	大阪府	22,363	2,208	9.9%
36	奈良県	3,361	319	9.5%
37	埼玉県	16,169	1,504	9.3%
38	熊本県	3,586	325	9.1%
39	徳島県	1,731	155	9.0%
40	千葉県	13,937	1,136	8.2%
41	広島県	7,149	572	8.0%
42	兵庫県	14,232	1,127	7.9%
43	愛知県	19,058	1,449	7.6%
44	茨城県	6,297	439	7.0%
45	神奈川県	21,076	1,398	6.6%
46	京都府	7,973	526	6.6%
47	東京都	36,720	1,226	3.3%
計		294,840	29,094	9.9%

（出典：学校基本調査）

【資料10】

家政科 入学定員充足率

学科専攻	区分	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
家政科	入学定員	90 人	90 人	90 人	90 人	90 人
家政専攻	入学者数	101 人	108 人	63 人	40 人	34 人
	充足率	112.2 %	120.0 %	70.0 %	44.4 %	37.8 %
家政科	入学定員	70人	70人	70人	70人	70人
生活総合	入学者数	94人	84人	56人	57人	54人
ビジネス専攻	充足率	134.3%	120.0%	80.0%	81.4%	77.1%
家政科	入学定員	110 人	100 人	100 人	100 人	100 人
食物栄養	入学者数	91 人	71 人	75 人	77 人	55 人
専攻	充足率	82.7 %	71.0 %	75.0 %	77.0 %	55.0 %
計	入学定員	270 人	260 人	260 人	260 人	260 人
	入学者数	286 人	263 人	194 人	174 人	143 人
	充足率	105.9 %	101.2 %	74.6 %	66.9 %	55.0 %

※少数第2位四捨五入

(本学調査)